

第4回 全国版 子どもの集い・交流会のアンケート結果

1. 参加状況

参加者数：38名

内訳（アンケート協力者35名分）

20代：13名、30代：8名、40代：10名、50代：4名

女性：30名、男性：5名

東海地域：15名、関西地域：10名、関東地域：7名、その他：3名

初回参加：20名、2回目：7名、3回以上：8名

2. 参加動機

- ・同じ子どもの立場の方の経験・思いを知りたい、同じ境遇の人に出会ってみたい
- ・遠方で定例の集いにはなかなか参加できないので
- ・親との関わり方のヒントや親の言動を少しでも理解したいと思ったから
- ・自分の方向性に悩んでいたから
- ・中村ユキさんの話が聴きたかったから
- ・三重の集いや地域の集いに参加していたから

3. 集いの満足度

- ・60～79% 5名
- ・80～89% 10名
- ・90～99% 10名
- ・100%～それ以上 8名

理由：午前に参加できず、自分のことが話せなくて、やや消化不良に感じた

時間的にもっといろいろ話したかった。分かち合いが少なかった。

同じ性（男性）・同世代の同じ境遇の人と話せたので良かった

同じ立場の方の生身の声が聞けて頑張ろうと思えた

実践的なことが聞けて、勇気が出た

小グループで気持ちに共感してもらえ、迷っていることを頑張ってみようと思えた

小グループは時間が限られていたが、少人数だったのではなせ

午前・午後で得られた情報が異なり、意義があった

ユキさんに会えて良かった。ユキさんの明るいトークに癒された

ユキさんの話は対応を前向きに考えることもでき、相談先の参考になった

午前のゲームやグループワークが楽しかった

いつも以上に、子どもの気持ちに沿った内容と構成だった

（ユキさんに寄せ書きを渡したが）一人1枚ずつメッセージを書いたことで、全員で参加した気がした

4. 対談に関する感想

- ・ユキさんの実体験から「こんな風にやってきたよ」という具体的な支援を受けるための方法を聞かせていただき、支援を受ける側が発信してくる大切さを感じた、積極的に医療・福祉・地域の担当者に向けあっていこうと思う。
- ・同じ立場だからこそ、説得力があり、心に響くことが多かった
- ・自分の人生は自分を優先することで楽しい人生が送れる、物は考えようなど、参考になった
- ・いろいろな工夫が聞けて明るい気持ちになれた反面、自分がうつ病なので、支援を探すエネルギーがないとも感じた
- ・精神疾患は対人関係が回復につながっていると改めて感じた。今も本人を許せない気持ち強いが、同じ立場にある人との交流を通じて、自分の気持ちを整理していきたい
- ・対談で触れて欲しいテーマなどを事前に取り上げてくれていたので、良かった。
- ・ユキさんは気さくで明るく、元気付けられた。参加者同士で語り合いたいので、来年もぜひ来て下さい！ など

5. プレ企画（小グループの語り合い）に関する感想

- ・自分の過去の経験なんて・・・という気持ちがあったが、他の人と同じで、同じ立場で居られる場所があるんだとわかり、嬉しかった
- ・他の症状を持つ方の話も聞いて参考になった
- ・いきなり本題に入るより、前置きのゲームを通して周りの人と交流がとれて、良かった
- ・男性同士で話す機会が殆どないので、同じグループに複数の男性がいたことで参加して良かったと思えた。
- ・通常言えない気持ちをいうことができて、スッキリした。
- ・参加経験が豊富な方がうまくまとめてくださったので話しやすかった。「そうそう」と分かり合えたときは嬉しかった
- ・発達障害の親なので、話題に乗れず、話しにくかった。病名別で分かれた方が良いのではと感じた
- ・参加者のフリーセッションがあると嬉しい。例えば「20代同士で語り合おう」「うつ病の親を持つ子どもたちで話そう」「支援者を志す人で語ろう」など

6. 今後の要望

- ・次年度以降も、語りの場を設けて欲しい
- ・テーマや内容として、
 - 「生きづらさや親に向き合うための方法」
 - 「具体的な対応方法」
 - 「高齢化してきた親への対応方法」
 - 「親に病気のことを理解してもらうための方法」
 - 「統合失調症など疾患に関するニュースでの取り上げ」

「精神疾患の当事者でもある子どもの集い」などを取り上げて欲しい

- ・小グループの語り合いに着いては、疾患別やテーマ別のグループ分けにして欲しい
- ・今回は利用しなかったが、託児を準備してもらえると安心して参加できる など

6. 全体を通しての意見・感想

- ・親の病気で孤立し、生活困難に陥っている子どもが現在もいると考えると、心が痛む。
今、支援を必要としている子どもにもスポットを当てた活動をして欲しい。
- ・集いでのお話し合いや、会の活動を支援に結び付けて言って欲しい
- ・交通費割引が精神障害者だけないように、障害者間差別を解消するために家族や当事者は何をしていけば良いのか
- ・家族支援の充実を図って欲しい
- ・有能な支援者はどのようにすれば増えるのか？増えていって欲しいし、支援者のサポートも十分になって欲しい
- ・子ども支援が各都道府県に1つは欲しい
- ・こうしてサポートを変わらずに続けてくださることは本当に心強い
- ・(最後に、ユキさんに皆で作成したメッセージカードを合わせた寄せ書きを渡したことで) 会場の参加者とユキさんが1つになれて良かった

当日、ユキさんに参加者よりメッセージを寄せて、送らせていただいた色紙です！

